

# A World-Class Career for World-Class Professionals

*Mynavi Global Career Expo (Winter 2011)*

国際通貨基金(IMF)アジア太平洋地域事務



## 概要

- ❖ 国際通貨基金 (IMF) とは
- ❖ IMF とスタッフ
- ❖ 採用について

# IMFとは

## 1945年に設立された国連の専門機関

### 設立の背景:

1944年7月にニューハンプシャー州ブレトンウッズで開催された国際連合の会議にてその設立が提案された。会議に出席した45カ国の政府代表は、1930年代の世界恐慌の原因となった通貨切り下げ競争による悪循環を繰り返さないよう、経済協力の枠組みの構築を目指した。

## IMFの概要

- ❖ 加盟国数: 187カ国
- ❖ 本部: ワシントンDC
- ❖ 専務理事: クリスティーン・ラガルド
- ❖ 職員数: 141カ国より約2,500名
- ❖ 財源: クォータ(出資割当額) 総計3,280億ドル

# IMFの本部(ワシントンDC)



## IMF マネジメント



専務理事はスタッフの  
トップに位置すると  
もに理事会の議長も  
勤める

専務理事

Christine Lagarde



筆頭副専務  
理事  
David Lipton



副専務理事  
Nemat Shafik



副専務理事  
Naoyuki Shinohara



副専務理事  
Min Zhu



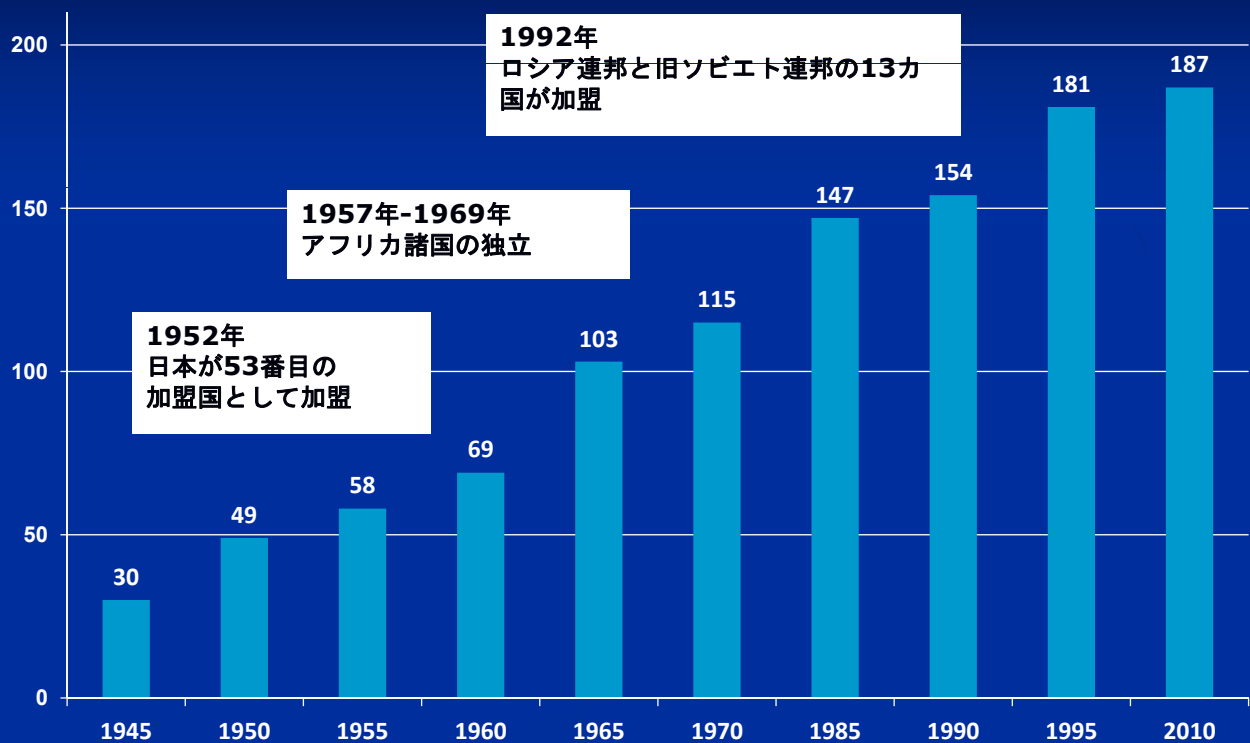
## IMFの役割(IMF協定)

- ❖ 国際的通貨協力の推進
- ❖ 国際貿易の拡大とバランスの取れた成長促進
- ❖ 為替安定の促進
- ❖ 多国間決済システム確立の支援
- ❖ 国際収支上の困難に陥っている加盟国への  
(適切なセーフガードを伴う)財源提供

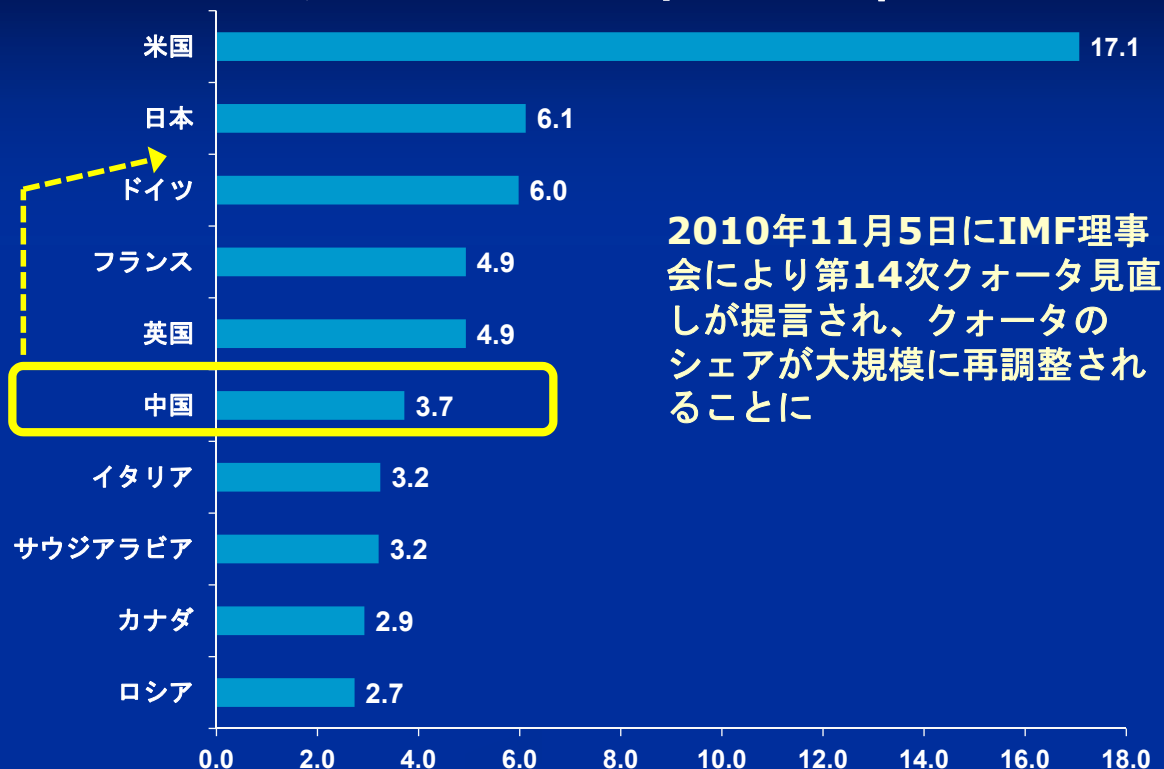
## IMFの主な業務

- ❖ サーベイランス
  - 加盟国の経済状況、政策のチェックを通じた  
個別国のマクロ政策、為替政策の審査
- ❖ 融資
  - 国際収支が困難になった国に対する支援
- ❖ 技術協力(Technical Assistance)
  - 財政金融政策の執行のための途上国の能力強化  
を目的とした知的支援

# IMFの加盟国の推移



# クォータ上位10カ国

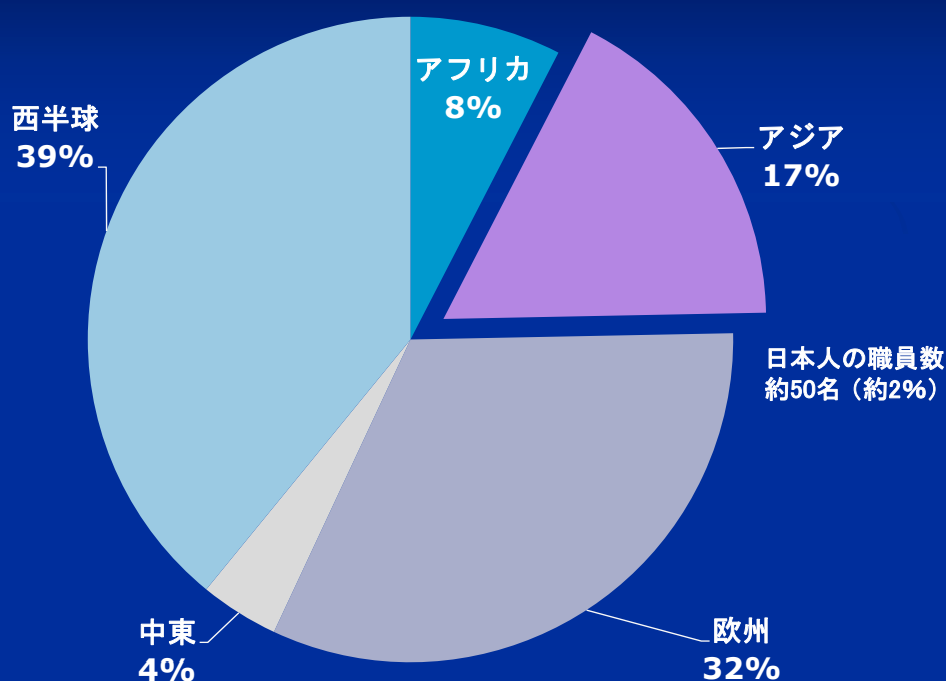


# IMFとスタッフ

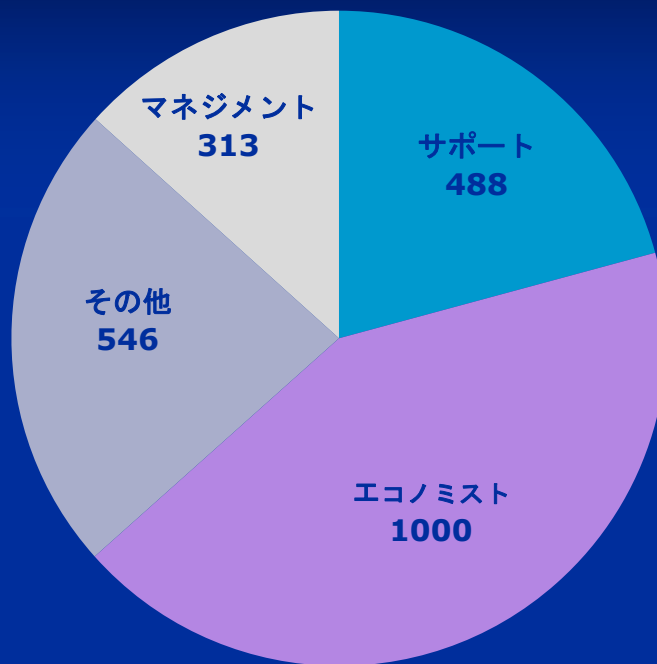
- ❖ 本部：米国ワシントンD.C.  
地域事務所（パリ、東京）、駐在事務所、研修センター等
- ❖ スタッフ：約2,500名（半数以上がエコノミスト）  
その他：広報、施設管理、財務会計、法務、通訳・翻訳、人事、IT、資料室、事務、セキュリティなど
- ❖ 出身国：141カ国
- ❖ 多様性と専門性を重視

## IMF職員の出身国

2009年（2,402名）

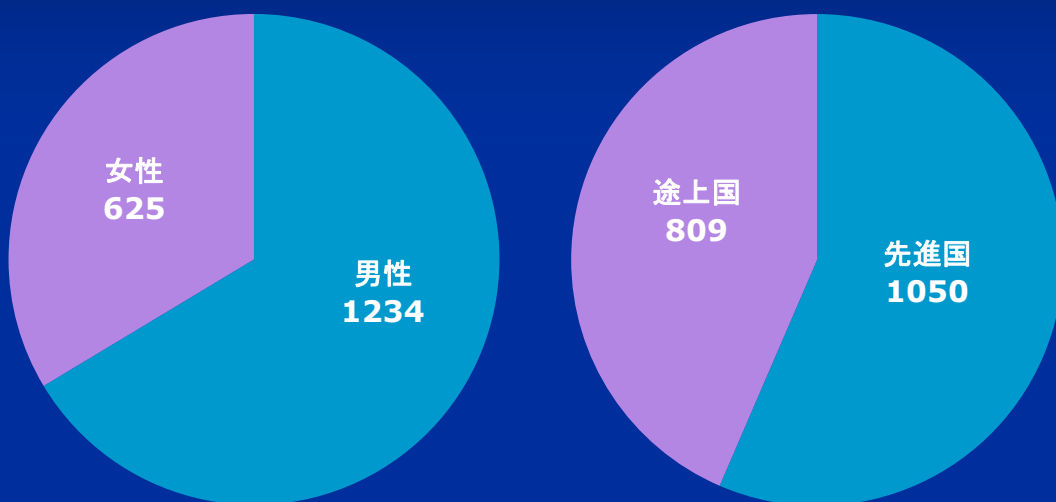


# IMFスタッフの構成 I.



職員数 2,347 (2009年9月1日現在)

# IMFスタッフの構成 II.



IMFのダーバーシティ:

プロフェッショナルスタッフとマネジメントレベル(2009年9月1日現在)

# 採用

長期:

- ❖ エコノミスト プログラム (EP)
- ❖ ミッドキャリア エコノミスト(経験者)
- ❖ プロフェSSIONAL (中途採用)  
人事、広報、IT, 経理、通訳・翻訳など

短期:

- ❖ リサーチアシスタント プログラム (RAP)
- ❖ ファンドインターンシップ プログラム (FIP)

IMF採用ページ:

<http://www.imf.org/external/np/adm/rec/recruit.htm>

## エコノミスト プログラム(EP)

応募資格

- ❖ 34歳以下 (採用時)
- ❖ マクロ経済、国際金融などで博士号取得が望ましい (修士でも応募可)
- ❖ 英語力
- ❖ 職務経験がなくても応募可能



## EP研修内容

- ❖ 研修期間（3年間）  
地域局と機能局で各18ヶ月
- ❖ 経済、IT、語学、マネジメント  
スキルを学ぶトレーニングに参加
- ❖ ミッションへの参加

## ミッドキャリアエコノミスト （経験者）

- ❖ Ph.D.もしくは修士でIMFに関連する  
職務経験
- ❖ マクロ経済のジェネラリスト
- ❖ その他スペシャリスト  
貿易、キャピタルマーケット、  
税制など

## その他プロフェッショナル (経験者)

- ❖ エコノミスト以外のポジション
- ❖ 修士号以上
- ❖ 応募する職種での実務経験

## リサーチアシスタント プログラム (RAP)

- ❖ 下記分野の学士号取得者 (GPA 3.5以上)  
経済学、コンピュータサイエンス、  
統計学、数学、経営学など
- ❖ ワシントン本部で、エコノミストのアシスタントとして経済、金融および統計データの調査、集計および分析を担当
- ❖ 期間：2年間（延長なし）

## ファンドインターンシッププログラム (FIP)

- ❖ マクロ経済の修士・博士号取得者
- ❖ 10-13週間のワシントン本部でのインターンシップ (5-10月)
- ❖ リサーチプロジェクトへの参加
- ❖ 年間平均採用人数：40名  
(2009年実績：約50人)

## サマーインターンシッププログラム

IMFアジア太平洋地域事務所(OAP)：東京

- ❖ 期間：7月から9月までの6週間～8週間
- ❖ 募集時期：3月-4月
- ❖ 内容：有給インターンシップ
- ❖ 職種：エコノミスト、広報 (各1名)
- ❖ 応募資格・応募方法
  - 大学院生(修士課程)
  - エコノミストインターン：修士レベルの経済の知識
  - 広報インターン：国際機関で働くことに興味のある人
- ❖ 応募書類 ※OAPのウェブサイトに掲載
  - 履歴書
  - 指導教官の推薦状



# Japan-IMF スカラシップ・プログラム (JISP奨学金)

博士号取得のための日本-IMF奨学金プログラム

海外でマクロ経済学博士号を目指す日本人を対象とした2年間の奨学金制度(日本政府が資金を提供)

- ❖ 全てのJISP奨学生は、学業終了後、IMFの採用試験に応募することが求められる
- ❖ 奨学金の支給範囲
  - 学費全額
  - 医療保険
  - 月々の生活手当及び年間の書籍購入手当て
  - 特定の旅費
  - 有給夏季インターンシップ



# Japan-IMF スカラシップ・プログラム 応募資格

- ❖ 日本国民であること
- ❖ 博士号を34歳までに取得できること
- ❖ 海外の大学のマクロ経済学博士課程に在学中、もしくは同過程に入学申請中の者
- ❖ 博士課程への進学前、または2年目の課程の開始前であること(例外的に、同課程3年目の申請者には、1年の奨学金支給が検討される場合もあります)

詳細は、カタログをご覧ください

応募方法

[www.iie.org/jisp](http://www.iie.org/jisp)



# IMFウェブサイト

日本語ウェブサイトへのリンク

# IMFアジア太平洋地域事務所(OAP)

英語ページへのリンク

## OAPの主な活動

- ❖ 地域の経済・金融動向のモニタリング
- ❖ 地域統合・地域協力の進展状況や課題の分析判断
- ❖ 対外活動と能力強化
- ❖ 地域におけるIMF本部活動の促進

# Q&A

